

1 議 事 日 程

[平成26年太宰府市議会 決算特別委員会]

平成26年9月2日

午前 11 時 20 分

於 全員協議会室

- 日程第1 認定第1号 平成25年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について
日程第2 認定第2号 平成25年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第3 認定第3号 平成25年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
日程第4 認定第4号 平成25年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第5 認定第5号 平成25年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第6 認定第6号 平成25年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
日程第7 認定第7号 平成25年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門田直樹	議員	副委員長	渡邊美穂	議員
委員	陶山良尚	議員	委員	神武綾	議員
〃	上 疆	議員	〃	芦刈茂	議員
〃	小 畠 真由美	議員	〃	長谷川 公 成	議員
〃	藤 井 雅 之	議員	〃	原 田 久美子	議員
〃	後 藤 邦 晴	議員	〃	不 老 光 幸	議員
〃	小 柳 道 枝	議員	〃	大 田 勝 義	議員
〃	佐 伯 修	議員	〃	村 山 弘 行	議員
〃	福 廣 和 美	議員	〃	橋 本 健	議員

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（16名）

市長	井上保廣	副市長	平島鉄信
教育長	木村甚治	総務部長	濱本泰裕
市民福祉部長	中島俊二	建設経済部長	辻友治
上下水道部長	松本芳生	教育部長	堀田徹
会計管理者	今泉憲治	総務課長	友田浩
経営企画課長	山浦剛志	人権政策課長兼 人権センター所長	諫山博美
国保年金課長	永田宰	都市計画課長	今村巧児
上下水道課長	石田宏二	監査委員事務局長	渡辺美知子

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長 篠原 司 議事課長 櫻井三郎
書記 山浦百合子

開会 午前11時20分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

本日の決算特別委員会は、認定第1号から認定第7号までについて、各所管部長からの説明にとどめたいと思います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 認定第1号 平成25年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） それでは、日程第1、認定第1号「平成25年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（濱本泰裕） 認定第1号「平成25年度太宰府市一般会計歳入歳出決算について」、その概要をご説明申し上げます。

資料といたしましては、事務報告書の決算の概要に沿って説明をさせていただきます。

なお、説明の都合上、決算額は千円単位で説明させていただきますので、よろしく願いいたします。

初めに、1ページの会計別決算状況をごらんください。

平成25年度の一般会計の決算額は、歳入総額234億1,363万6,000円、歳出総額223億1,470万1,000円となっております。

参考に、これを前年度と比較いたしますと、歳入では8億3,144万円、3.7%の増、歳出では10億9,160万8,000円、5.1%の増となりました。

歳入歳出差し引き額は10億9,893万5,000円の黒字となり、ここから体育複合施設整備事業費など翌年度に繰り越すべき財源2億9,830万4,000円を差し引きますと、実質収支額として8億63万1,000円の黒字決算となっております。

次に、2ページをごらんください。

こちらに普通会計決算の概略を載せておりますが、これからの説明につきましては一般会計に住宅新築資金等貸付事業特別会計を含めた普通会計の数値になりますので、あらかじめご了承をお願いいたします。

平成25年度の予算執行に当たりましては、あらゆる補助メニューの活用について再検証しつつ、限られた財源の重点配分と、各施策、事業の積極的、効率的推進に努めたところでございます。その結果、2ページに掲げます決算の内訳となっております。

それではまず、歳入からご説明申し上げます。

3ページをごらんください。

歳入全体の決算額は234億1,573万1,000円で、前年度より8億2,744万5,000円、3.7%の増となっております。主な要因は、市税や国の緊急経済対策に伴う地域の元気臨時交付金による国

庫支出金の増、また体育複合施設や総合子育て支援施設整備に伴う市債の増などです。

次に、市税の内訳をご説明いたします。

次の4ページをごらんください。

市税の決算額は78億8,325万8,000円で、前年度と比較いたしますと9,188万9,000円、1.2%の増収となっております。主な要因といたしましては、個人市民税が景気の回復傾向により増収となり、また固定資産税及び都市計画税についても新たに課税対象となった新築家屋などにより増収となったこと、さらにたばこ税が県たばこ税の一部が市に移譲されたことに伴い増収になったことによります。

また、5ページには、一般財源の状況を載せております。

一般財源全体としては151億8,745万4,000円で、前年度から3億9,478万2,000円、2.7%の増となっております。内訳といたしましては、地方交付税や諸収入は減額となりましたが、先ほども申しあげました市税の増と税率の変更に伴う株式等譲渡所得割交付金の増、また地域の元氣臨時交付金による国庫支出金の増などに伴い、一般財源全体として増額となっております。

以上で歳入の状況の説明を終わらせていただきます。

次に、7ページの歳出の状況をご説明いたします。

歳出全体の決算額は223億1,607万6,000円で、前年度より10億8,712万6,000円、5.1%の増となっております。内訳を目的別に見ますと、総務費が松川公共施設（庁舎分）整備事業、いきいき情報センター駐車場整備事業、財政調整資金積立金などにより3億383万4,000円、9.9%の増、民生費が総合子育て支援施設整備事業、私立保育所増築補助金、生活保護費などにより4億765万円、5.4%の増となっております。また、教育費は、体育複合施設整備事業、中学校校舎等大規模改造事業、史跡地公有化事業などにより6億1,357万円、20.9%の増となっております。

次に、8ページで歳出を性質別に分けて分析しております。

義務的経費のうち人件費及び扶助費は増額となっておりますが、いきいき情報センター整備に係る借り入れの償還終了などにより、公債費が前年度より1億8,380万2,000円、6.6%減少しております。

また、投資的経費については、体育複合施設整備事業、総合子育て支援施設整備事業、松川公共施設整備事業、史跡地公有化事業などにより7億1,223万8,000円、28.9%の増額となりました。

その他の経費では、補助費が消防組合負担金、福岡都市圏南部環境事業組合負担金の増などにより2億824万9,000円、7.9%の増額となっております。

以上で歳出の説明を終わらせていただきます。

次に、本市の財政状況についてご説明いたします。

10ページに経常収支比率の推移を載せております。

経常収支比率は財政構造の弾力性を示す指標の一つですが、平成25年度は89.8%で、前年度

から0.8ポイント改善しております。改善の要因といたしましては、公債費が減額となったことと、経常収支比率算定の分母となる、市税や普通交付税、臨時財政対策債などの経常一般財源収入の総額が増加したことなどです。

また、11ページに健全化判断比率を載せております。

健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標から成ります。

本市の平成25年度健全化判断比率は、一般会計等の実質収支が黒字であるため、実質赤字比率の表示はなく、公営事業会計も含めた実質収支の合計でも黒字であるため、連結実質赤字比率の表示もありません。また、一部事務組合まで含めた実質公債費比率は3.7%となり、昨年より1.8ポイント改善されております。さらに、地方公社や第三セクターなどまで含めた将来負担比率は、市債残高などの将来負担額から充当可能財源を引きますとマイナスになりますので、負担比率の表示はありません。したがって、11ページの表からもわかるとおり、太宰府市の財政状況は全て早期健全化基準及び財政再生基準以下であるため、健全化法に基づく財政健全化計画及び財政再生計画の策定は不要であります。

12ページ、13ページには、市債残高と基金残高の推移をグラフで載せております。

平成25年度末の市債残高は、体育複合施設整備事業や子育て支援施設整備事業などに伴い前年度より4億1,380万円増加し、203億3,738万5,000円となっています。

市債残高の約203億円を参考までに分析いたしますと、このうちの64%、約129億円は後年度に普通交付税として交付される額であり、また22%、約45億円が史跡地公有化の償還補給金などとして補助金で賄われます。よって、市債残高のうち実質負担額、いわゆる真水部分と言われる部分は14%、約29億円ということになります。

一方、平成25年度末の基金残高につきましては、前年度より4億8,477万9,000円の増の46億5,931万5,000円となり、6年連続で増加することができました。

以上、簡単ではございますが、一般会計及び普通会計の歳入歳出決算についての概要を説明いたしました。

詳細につきましては、配付させていただいております決算書並びに事務報告書、監査意見書等を参照していただければと考えております。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 認定第2号 平成25年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第2、認定第2号「平成25年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（中島俊二） 認定第2号「平成25年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定」につきまして、その概要をご説明申し上げます。

初めに、本市国民健康保険の加入状況につきましては、平成25年度平均数値でございますけれども、加入世帯数は1万412世帯、加入率は34.8%、被保険者数は1万7,783人、加入率は25.0%となっております。

次に、決算の状況につきましてご説明を申し上げます。

決算書を願いたいします。決算書は275ページからとなっております。

276ページ、277ページをお開きください。

歳入の決算額につきましては、歳入合計72億2,034万729円となっております、前年度に比べ1億2,028万7,983円、1.7%の増となっております。

次に、280ページ、281ページをお開きください。

歳出の決算額につきましては、歳出合計81億332万71円で、前年度と比べ3億3,914万4,698円、4.4%の増となっております。

歳入歳出差し引き残額は8億8,297万9,342円の赤字決算となっておりますが、この歳入不足につきましては翌年度繰上充用金で補填するため、平成26年度補正予算としまして平成26年5月31日付で専決処分を行いまして、6月議会におきましてご報告をさせていただいているところでございます。

次に、歳入の主なものにつきましてご説明をいたします。

282ページ、283ページをお開きください。

1 款国民健康保険税は15億6,084万4,079円で、前年度に比べ472万4,962円、0.3%の減となっております。

284ページ、285ページをお開きください。

2 款国庫支出金でございますけれども、15億4,745万5,679円で、前年度に比べ7,191万9,297円、4.4%の減となっております。

286ページ、287ページをお開きください。

3 款療養給付費交付金は4億5,534万3,411円で、前年度に比べ4,110万9,607円、9.9%の増となっております。

4 款前期高齢者交付金につきましては、概算で交付を受けまして2年後に精算を行う仕組みとなっております、平成25年度は平成23年度分の精算に伴います追加交付として1億8,982万7,980円を含んだ交付となりまして、前年度に比べ1億7,126万8,440円、9%の増の20億6,537万4,480円となっております。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明をいたします。

296ページ、297ページをお開きください。

まず、2 款保険給付費は49億9,103万297円、前年度に比べ5,801万9,561円、1.2%の増、歳

出総額に占めます割合は61.6%となっております。

300ページ、301ページをお開きください。

一番下の3款後期高齢者支援金等につきましては、後期高齢者の医療給付費の現役世代の負担として拠出するものでございますけれども、9億4,427万2,944円となっております、前年度に比べ6,595万3,591円、7.5%の増、歳出総額に占める割合は11.7%となっております。

304ページ、305ページをお開きください。

6款介護納付金は3億7,246万6,656円で、前年度に比べ2,798万5,570円、8.1%の増となっております。

7款共同事業拠出金は8億7,568万9,278円で、前年度に比べ1,570万9,534円、1.8%の減となっております。

308ページ、309ページをお開きください。

11款諸支出金でございますけれども、国、県からの負担金、補助金の翌年度精算に伴う精算返還金でございますけれども、1億266万495円で、前年度に比べまして3,728万4,191円、57%の増となっております。

以上が決算の概要でございますけれども、全国的に市町村の国民健康保険運営は非常に厳しい財政状況が続いております。昨年成立しました持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律、いわゆるプログラム法に基づきまして国民皆保険を維持するため、国民健康保険の財政支援の拡充等、財政上の構造的な問題を解決した上で、国民健康保険事業の財政運営主体を平成29年度から都道府県単位とすることなどが予定され、現在、国と地方による国保基盤強化協議会が開催されているところでございます。

本市といたしましては、その論議等を注視しながら、国民健康保険制度の安定的、持続的な運営に向けまして関係機関に働きかけを行いますとともに、医療費の適正化事業や市民の健康づくりに資する啓発、取り組みなどを行い、国保運営に努めてまいります。

よろしくご審議をいただき、認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 認定第3号 平成25年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第3、認定第3号「平成25年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（中島俊二） 認定第3号「平成25年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

決算書は313ページからとなっております。

まず、314ページ、315ページをお開きください。

歳入合計は10億3,167万6,823円、歳出合計は9億8,143万9,856円となっておりまして、歳入歳出差し引き残額5,023万6,967円の黒字決算となっております。

前年度と比較しますと、歳入で2,096万4,080円、2.1%の増、歳出で2,140万4,897円、2.2%の増となっております。

316ページ、317ページをお開きください。

歳入の主なものといたしましては、1款保険料8億2,249万5,983円、3款繰入金1億5,834万8,956円でございます。

320ページ、321ページをお開きください。

歳出でございますけれども、歳出全体の大部分を占めます1款総務費は9億8,095万436円で、前年度に比べ2,192万1,257円、2.3%の増となっております。

総務費の98.1%を占めます2目広域連合負担金は9億6,203万4,324円で、前年度に比べ2,942万5,824円、3.2%の増となっております。この広域連合負担金につきましては、事務費負担金、保険料負担金及び保険基盤安定制度負担金が含まれておりまして、内訳につきましては事務報告書に掲載しておりますので、後ほどご参照いただきますようお願いいたします。

以上が決算の概要でございますが、後期高齢者医療制度につきましては昨年社会保障制度改革国民会議から提出されました報告書におきまして、この制度は5年を経過し、十分定着しており、今後必要に応じて改善を加えていくことが適当とされ、持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律、いわゆるプログラム法におきましても、必要に応じて見直しの検討を行うこととされているところでございます。

本市といたしましては、今後の国の制度改革などの動向を注視しながら、遺漏のないように対応してまいりたいと考えております。

よろしくご審議をいただき、認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 認定第4号 平成25年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第4、認定第4号「平成25年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民福祉部長。

○市民福祉部長（中島俊二） 認定第4号「平成25年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

決算書は325ページからとなっております。

まず、保険事業勘定からご説明申し上げます。



326ページ、327ページをお開きください。

歳入合計は42億6,694万8,581円となっておりまして、前年度に比べ1億8,171万3,333円、4.5%の増となっております。

328ページ、329ページをお開きください。

歳出合計は42億3,008万1,137円で、前年度に比べ1億4,760万3,820円、3.6%の増となっております。歳入歳出差し引き残額は3,686万7,444円の黒字決算となっております。

歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。

330ページ、331ページをお開きください。

一番上の1款保険料につきましては、65歳以上の第1号被保険者保険料でございまして、9億4,333万3,670円、前年度と比べまして4,710万2,111円、5.3%の増となっております。

次に、2款国庫支出金は8億6,688万7,948円で、前年度に比べ7,276万5,032円、9.2%の増となっております。

332ページ、333ページをお開きください。

3款支払基金交付金は40歳から64歳までの第2号被保険者保険料につきましては各医療保険者が健康保険料と一緒に徴収されます介護保険料を交付金として11億8,514万8,784円受け入れておりまして、前年度に比べ7,080万3,784円、6.4%の増となっております。

4款県支出金は6億1,931万8,794円、前年度に比べ2,251万1,962円、3.8%の増となっております。

334ページ、335ページをお開きください。

6款繰入金につきましては、全て1項の一般会計繰入金となっておりますけれども、6億4,920万4,400円、前年度に比べ2,489万1,247円、4%の増となっております。

338ページ、339ページをお開きください。

歳出の主なものにつきましては、1款総務費は1億4,886万8,565円、前年度に比べ介護給付費負担金及び交付金等の精算返還金の減によりまして1,836万5,214円、11%の減となっております。

342ページ、343ページをお開きください。

2款保険給付費は40億2,389万8,465円で、歳出総額の95.1%を占めておりまして、前年度に比べ1億7,640万2,658円、4.6%の増となっております。

1項の介護サービス等諸費は、要介護と認定されました被保険者の方のサービス費用の9割相当分で35億5,206万9,145円、前年度に比べ1億4,267万7,997円、4.2%の増となっております。

346ページ、347ページをお開きください。

2項の介護予防サービス等諸費は、要支援と認定されました被保険者の方のサービス費用の9割相当分で、2億5,518万4,955円、前年度に比べ2,629万6,418円、11.5%の増となっております。

350ページ、351ページをお開きください。

3 款地域支援事業費につきましては、地域で自立した生活ができるよう支援する事業で、5,657万1,583円となっております。

続きまして、介護サービス事業勘定につきましてご説明を申し上げます。

362ページ、363ページをお開きください。

歳入合計は3,248万3,703円、歳出合計は2,034万2,110円で、歳入歳出差し引き残額は1,214万1,593円の黒字決算となっております。

364ページ、365ページをお開きください。

歳入の主なものとしましては、1 款サービス収入はケアプラン作成手数料の2,543万511円となっております。

366ページ、367ページをお開きください。

歳出につきましては、全額1 款総務費の2,034万2,110円となっております。

以上が決算の概要でございます。

よろしくご審議をいただき、認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 認定第5号 平成25年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第5、認定第5号「平成25年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

人権政策課長兼人権センター所長。

○人権政策課長兼人権センター所長（諫山博美） それでは、認定第5号「平成25年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明を申し上げます。

決算書の369ページから378ページ、事務報告書では69ページとなっております。

また、決算審査及び基金運用状況審査意見書は36ページから37ページとなっております。

それでは、決算書の370ページ、371ページをごらんいただきたいと思います。

平成25年度の歳入歳出決算につきましては、歳入は230万5,885円、歳出が158万6,729円となっております。歳入歳出差し引き71万9,156円の繰り越しとなっております。対前年度比で見ますと、歳入で399万5,545円、63.4%の減、歳出では427万3,707円、72.9%の減となっております。

歳入が減額になりましたのは、前年度は平成23年度における定期償還者の一括返済等によりまして前年度繰越金が427万円ほどございましたが、平成25年度は償還者の一括返済がなかったことから歳入が減額となったものでございます。

また、歳出が減額になりましたのは、歳入同様、償還者の一括返済がなかったことから、住

宅新築資金等公債償還積立金が減額となったことによるものでございます。

今後の滞納解消に向けた取り組みといたしましては、滞納者への家庭訪問や督促状の送付、それから償還困難者に対しましては償還計画相談会を開催するなど、滞納解消に引き続き努めてまいりたいと思います。

以上、ご審議いただき、認定を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第6 認定第6号 平成25年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第6、認定第6号「平成25年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（松本芳生） それでは、水道事業の決算概要についてご説明申し上げます。

決算書は水色になります。

平成25年度におきましては、年間を通して適度な降雨に恵まれ、また大山ダムの完成により受水の増量もありましたので、今までにも増して安定的に水の供給が行われたところでございます。

まず、工事でございますけれども、4ページ、5ページをお願いいたします。

平成25年度に完成いたしました建設工事の概況につきましては掲載のとおりでございます。本年度は、配水管の新設工事12件、布設がえ工事9件、その他送水ポンプ等の更新2件を行っております。

次に、業務でございますが、6ページをお願いします。

(1)業務量の表の2段目でございますけれども、年度末給水人口は前年度に比べて813人増加し、伸び率は1.4%となっております。

また、水道料金の対象となります有収水量も同様に1.4%の増となっておりますけれども、その上の段の給水量は0.8%にとどまっております。これは一番下の段の有収率でございますけれども、漏水の減少等により0.5ポイント改善していることが主な要因であり、前年度より有効に水道水が活用されたことを意味するものでございます。

普及率につきましては、前年度から0.5ポイント上昇し、81.7%となっております。これは平成22年10月から実施しております家事用料金の引き下げ及び加入負担金の大幅な減額が大きく影響したものと考えております。今後、さらなる普及率の向上を図るため、昨年9月議会におきまして加入負担金の減額期間を平成28年3月まで延長する給水条例の改正案を提案し、全会一致でご承認いただいたところでございます。

このほか、水道の普及啓発活動としまして一昨年から広報及びホームページの掲載回数及び

内容等を大幅に見直し、また未加入者に対しましては直接文書の郵送等も行いました。さらに、これは昨年度からになりますけれども、6月の全国水道週間にちなんで市単独で水道展を開催するなど、今までやりたくてもできなかった水道のPRに取り組んでいるところでございます。今後も市民に広く浸透していくことを目指し、普及率の向上に努めてまいりたいと考えております。

次に、8ページ、9ページでございますけれども、重要契約の要旨並びに企業債等の概況を掲載しております。

企業債の平成25年度末現在高は、前年度から約1億460万円減少し、15億1,550万円余りとなっております。なお、今年度におきましても一時借入れは行っておりません。

続きまして、14ページをお願いします。

平成25年度の損益計算書でございますけれども、下から3行目に記載のとおり3,764万5,755円の当年度純利益が生じております。今年度におきましては、受水費が約1億円ほど増加しましたけれども、それ以上に資産減耗費の減少が大きかったため、黒字となったものでございます。

続きまして、16ページをお願いいたします。

平成25年度の剰余金処分計算書(案)でございますけれども、未処分利益剰余金の当年度末残高は一番右上の数字でございますけれども、9億7,236万8,863円となっております。これから先ほど説明いたしました平成25年度の当年度純利益3,764万5,755円の全額を建設改良積立金に積み立て、残りの金額9億3,472万3,108円は次年度に繰り越しとしております。

なお、17ページ以降におきまして、貸借対照表、それから収益費用明細書、資本的収支明細書、固定資産明細書並びに企業債明細書を添付しておりますので、後ほどご参照いただければと思います。

説明は以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長(門田直樹委員) 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 認定第7号 平成25年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長(門田直樹委員) 次に、日程第7、認定第7号「平成25年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長(松本芳生) それでは、下水道事業の決算概要をご説明申し上げます。

下水道事業の決算書は黄色になります。

4ページをお願いいたします。

平成25年度に完成いたしました建設工事の概況は記載のとおりでございますけれども、奥園雨水関係は繰越事業を含んで6件、汚水整備につきましては内山地区が繰越事業を含んで7件、北谷地区1件及び松川地区1件の合計9件が完了いたしております。

次に、5ページをお願いします。

ロの業務概況でございますけれども、普及率は99.1%、水洗化率は97.3%、そして水洗化人口普及率は96.4%となっており、いずれも0.1ポイント上昇しております。

上から3段目の水洗化人口につきましては、前年度から613人が増加して6万8,574人となり、伸び率は0.9%となっています。

整備率は84.7%ございまして、残すところ市街化調整区域及び北谷、内山地区の各一部となっております。今後とも計画的な整備に努めていきたいと考えております。

有収水量につきましては、全体として0.5%の微増となっております。内訳として一般汚水が0.5%の伸びで、温泉汚水は6.1%減少しております。

次に、9ページをお願いいたします。

イの企業債につきましては、平成25年度末現在高の合計の欄になりますけれども、前年度から約3億9,000万円減の100億8,000万円ほどにまで減少してきております。

なお、元金償還金は平成25年度にピークを迎えておりますので、今後は大幅に減少していく見通しでございます。

また、ロの一時借入金でございますけれども、今年度も借入れはいたしておりません。

次に、経理でありますけれども、16ページをお願いします。

平成25年度の損益計算では、下から3行目になりますけれども、3億1,957万2,923円の純利益となっております。

次の段の前年度繰越利益剰余金を加えました当年度未処分利益剰余金の額は4億93万4,307円となっております。

そして、18ページをお願いします。

平成25年度の剰余金処分計算書(案)でございますけれども、先ほどの当年度未処分利益剰余金が一番右上の欄に表示されておりますけれども、この額から議会の議決による処分額として今までと同様に当年度純利益の全額を減債積立金に積み立て、その残りを次年度に繰り越しとしております。

なお、19ページ以降に、貸借対照表、収益費用明細書、資本的収支明細書、固定資産明細書及び企業債明細書を添付しておりますので、後ほどご参照いただければと思います。

最後になりますけれども、昨年12月議会におきまして下水道使用料の7%引き下げをご承認いただき、本年度の平成26年度から適用させていただいているところでございます。移行手続としましては、この間特段の問題もなく無事に完了いたしております。

説明は以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 以上で説明は終わりました。

質疑については、9月19日及び9月22日の決算特別委員会で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 本日はこれをもちまして散会します。

散会 午後0時02分

~~~~~ ○ ~~~~~